



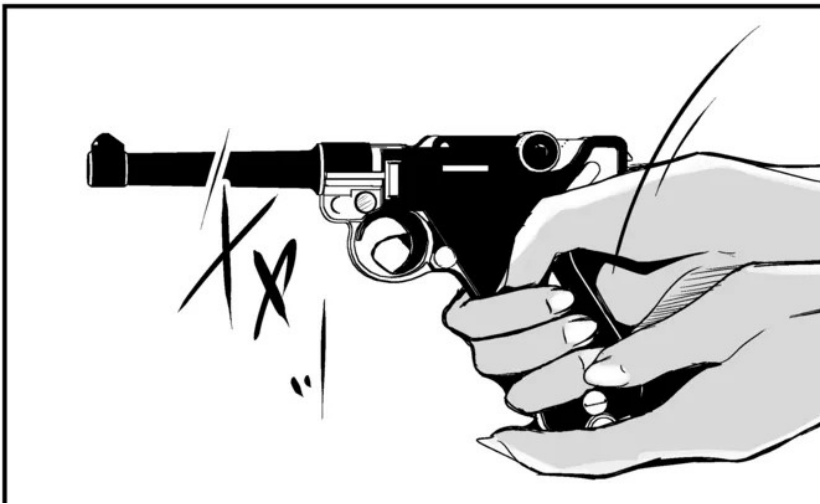
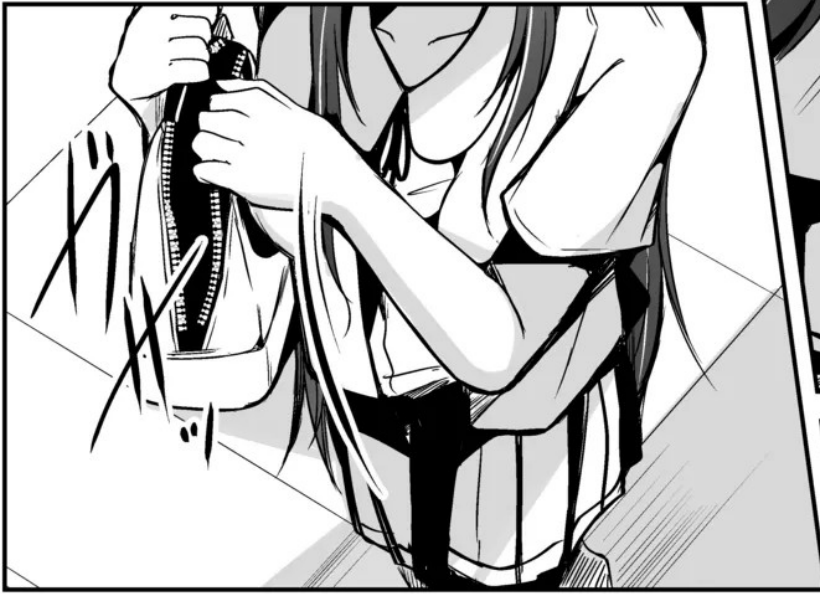
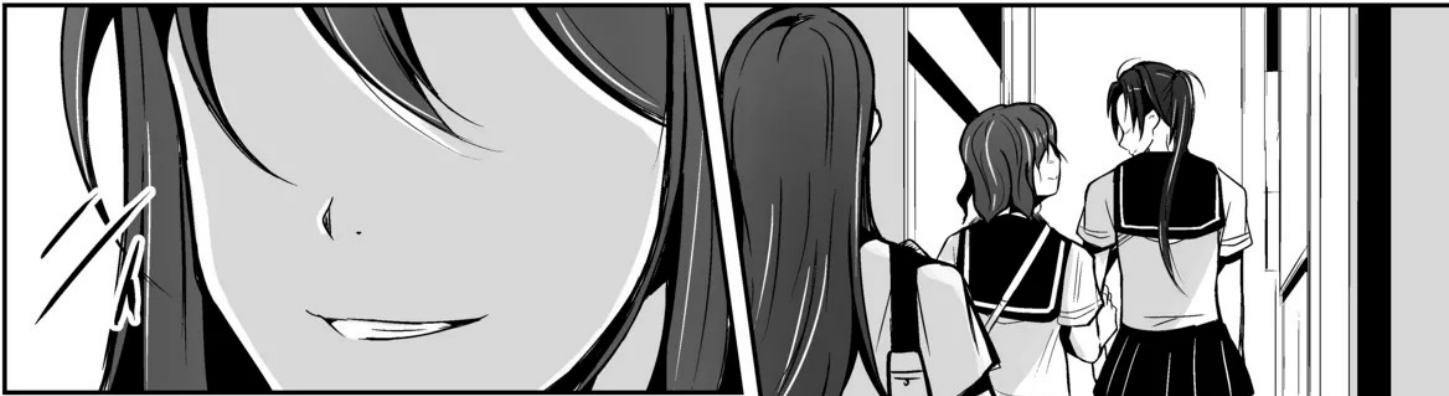
さて、
どうしたものか。



流石に
抵抗があるからな。



相手が欲しいと言っても、
いきなりで
野郎とするのは



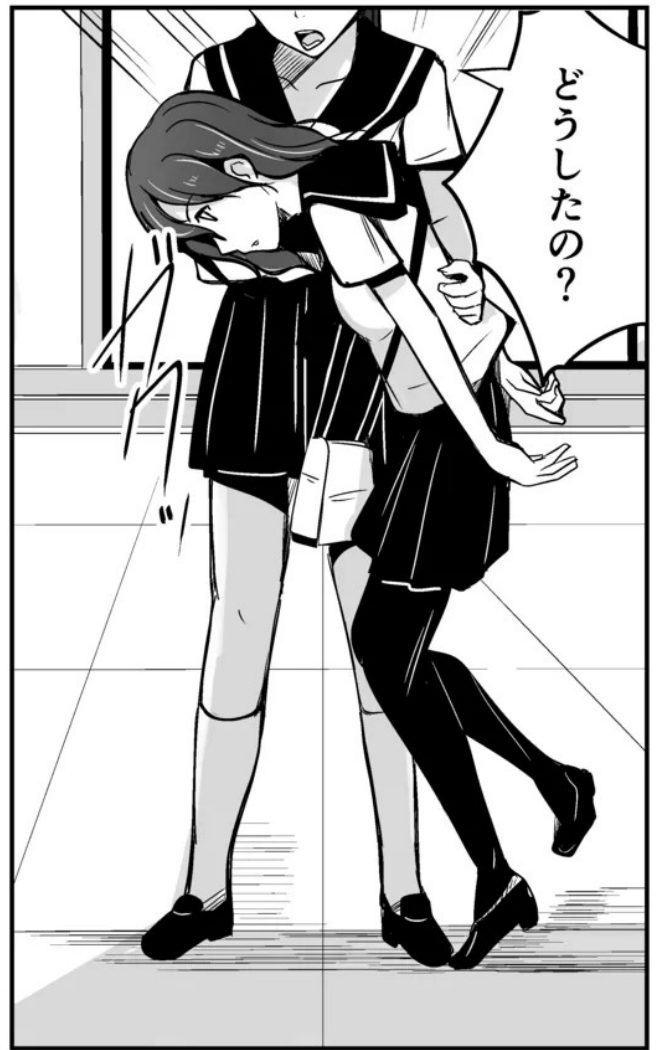


美奈？



……うん。

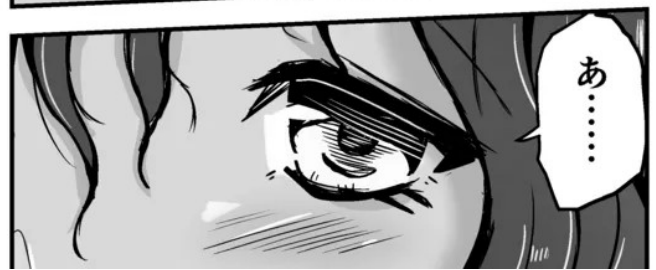
大丈夫。



どうしたの？



ちよっと
めまいがしただけ。



あ……



魂を抜き取る銃

俺はこの銃を使うで

ある女と
身体を入れ替えた。



そして、
一通り女性の快感を楽しみ、

今また別の女と
入れ替わった。

ちょっとそこで
休んでもいい？

もちろんだよ。



実はこの銃には
もう一つ能力がある。

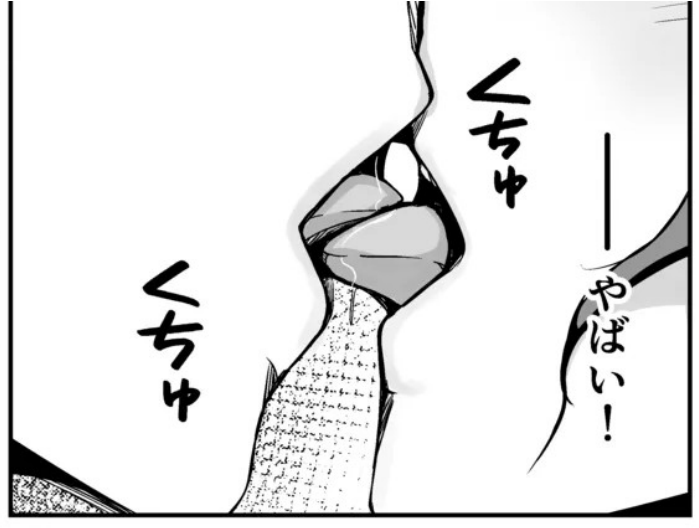
それは、
入れ替わった人間の記憶を
読み出せるというものだ。

もちろん相手は
俺の記憶は読みだせない。

そのように設計した。

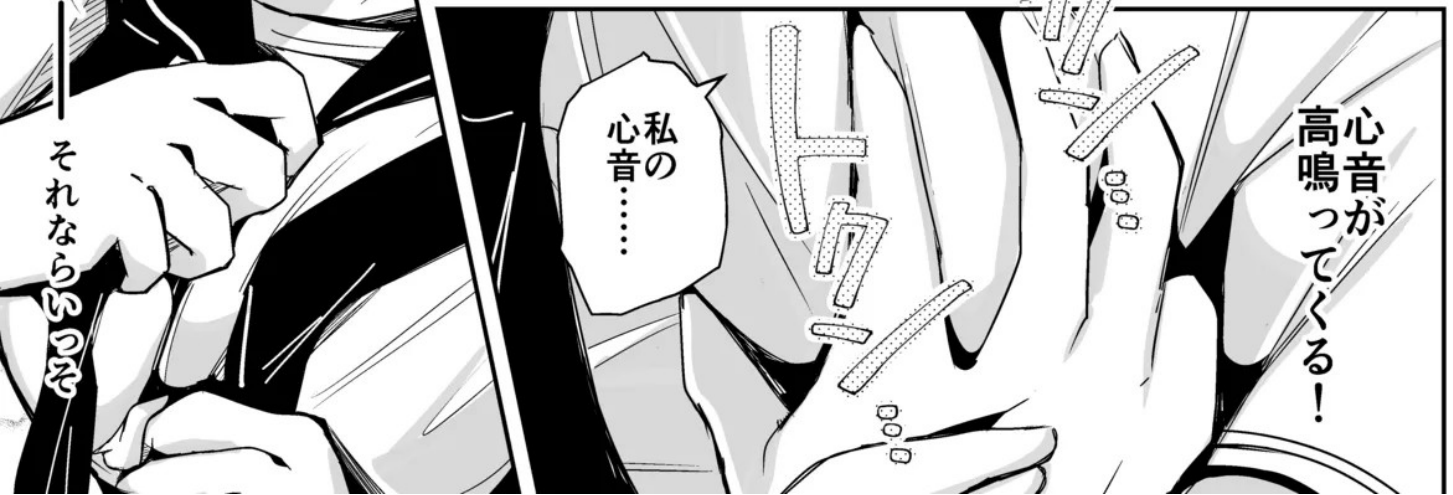


なんだかの
不思議なの。



千鶴の事
好きな気持ち
今までと
かわらないのに

いつも以上に
ドキドキしてて
わかるかな？



心音が
高鳴ってくる！

私の
心音……

それならいつぞ



あなたをもっと
感じたいの。

コイツになりきって
しまふのも
悪くないかもな。

トキッ

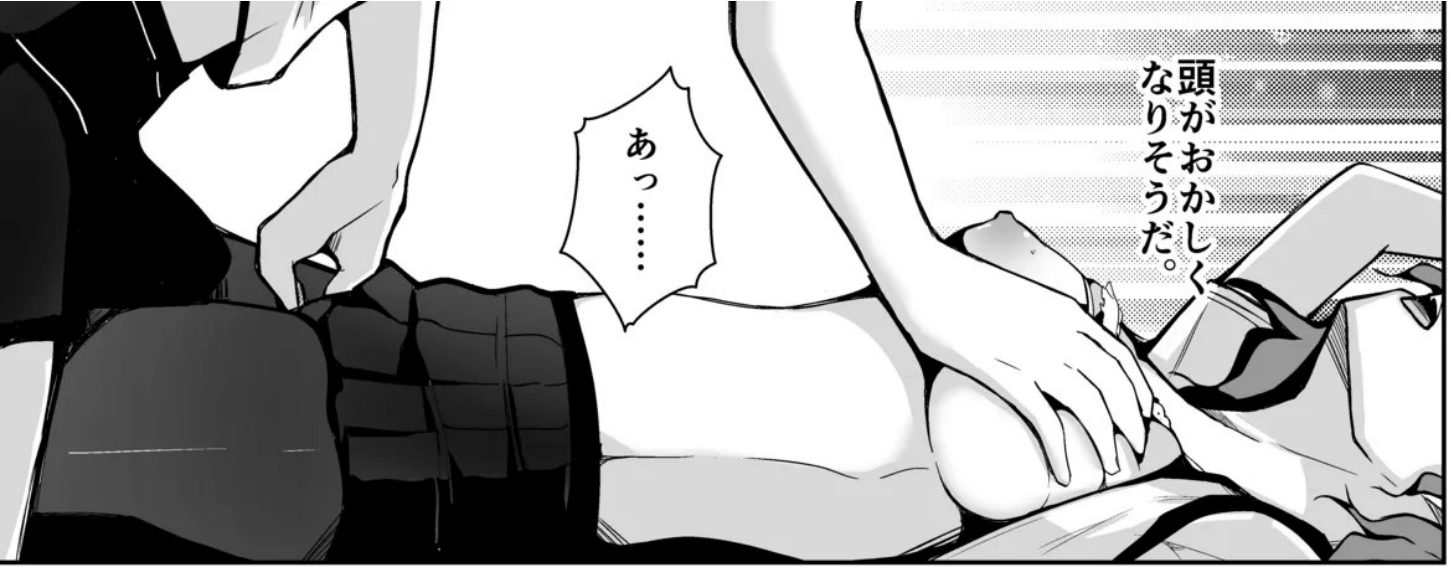
千鶴……。



その方が
女の快感を
より味わえるかもしれねえ。

わかったよ。
美奈。

女は心で
感じると言うし



頭がおかしく
なりそうだ。

あっ……



はう……

んっ。

色んな感情が
こみ上げてきて



あ……
あんっ

声が……

はっ

はっ

漏れる。

本当にいつもより
感じてるんだね。

や、
言わないで。

恥ずかしい……。

カワイイね。
君は。

んは……っ
んっ!

ヤバイ!
想像以上だ。これは。

オナニーでも
相当なものだったか、

これは完全に異質!

感情が快感に
上乘せされ

それによって
更に快感が増してゆく

あっ!

んっ!

じわじわと
だが着実に

大きくなつていく
快感の波

はう……

んん

んん



直接的な快感
だけじゃねえ！

声、仕草、感触……

はあっ！

あっ！



はあん！

んっ

それら全てが
快感に
変換されていくような

はっ



—いや

あっ!

んっ!

そんな事を考える
余裕さえも

快感に満たされ
奪われていく……。



千鶴!

ちゅるる……

好き……

だよ。

ただただ
いつまでも



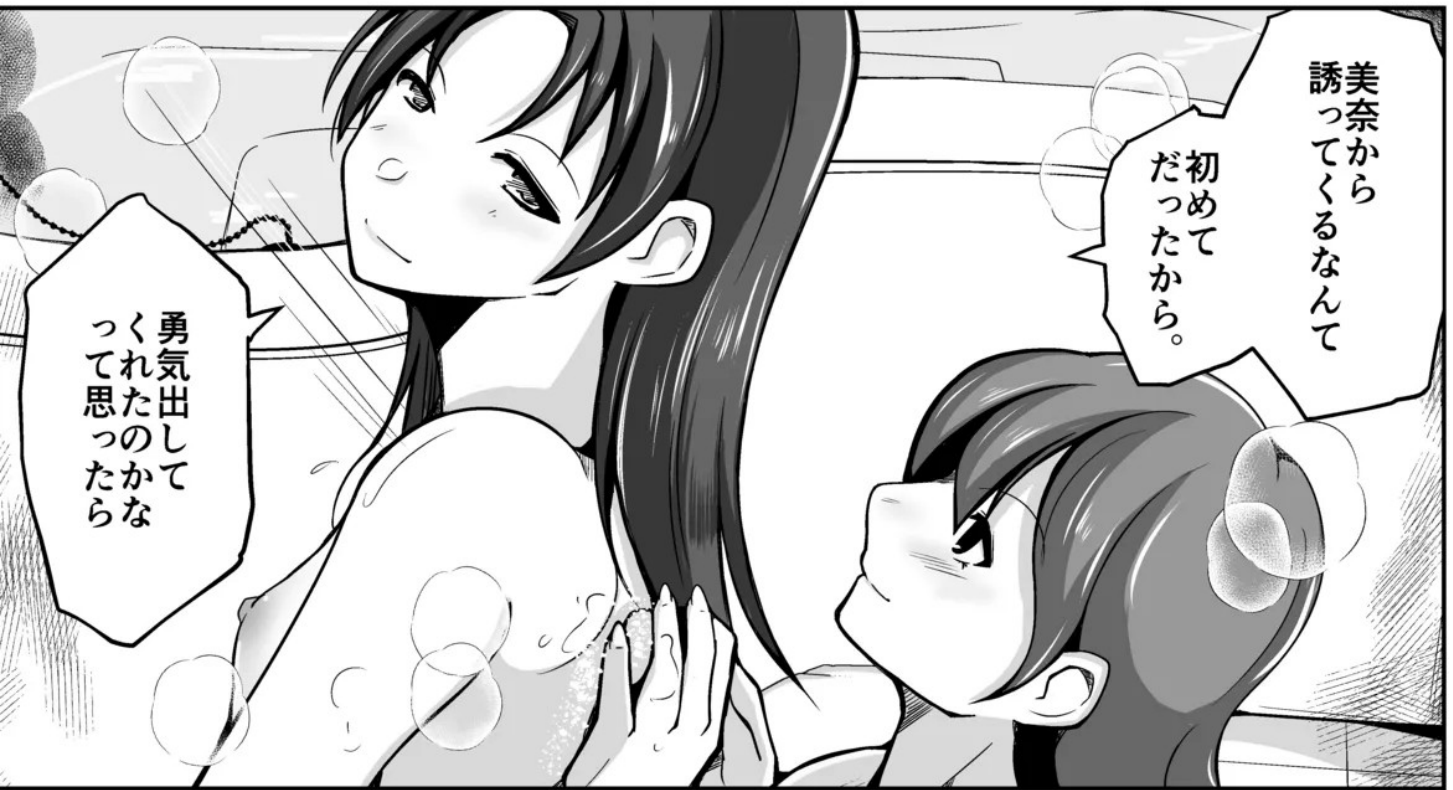


それにしても
驚いたよ。

嬉しいかったな。

何が？

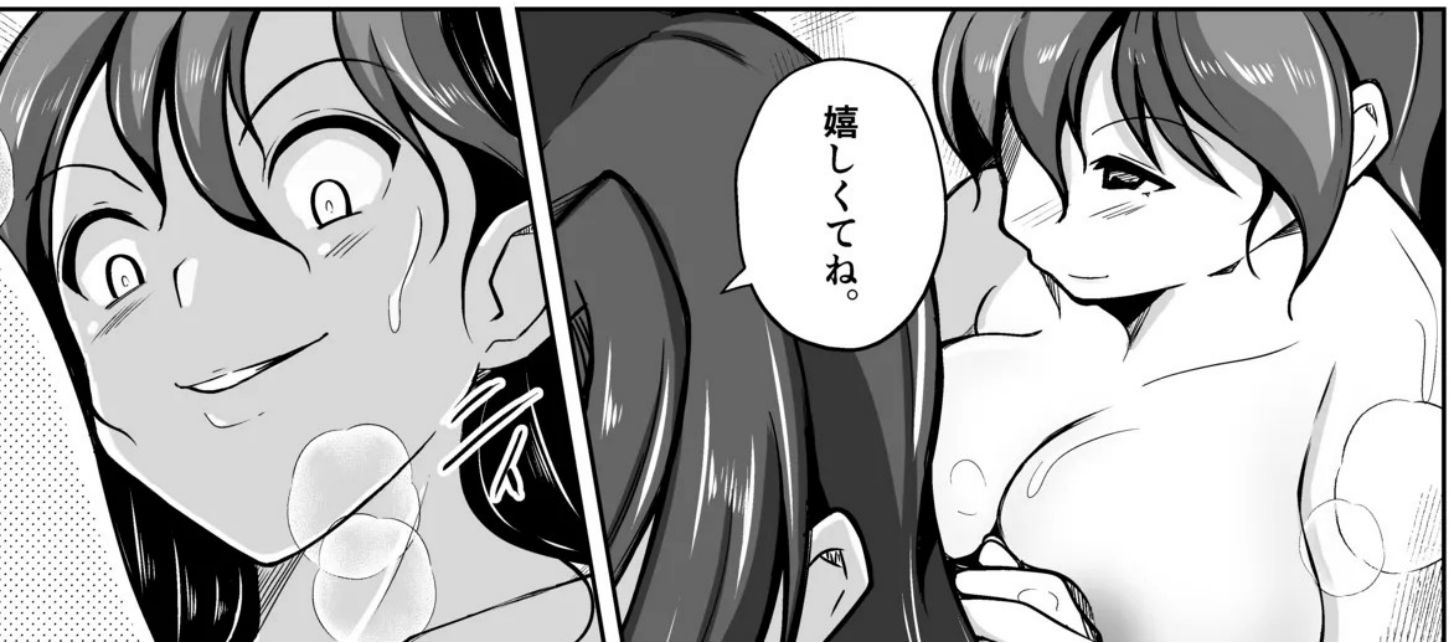
……いや



美奈から
誘ってくるなんて

初めて
だったから。

勇気出して
くれたのかな
って思ったなら



嬉しくてね。



中身が男だという事に
全く気付かず

ちよっと
美奈……？

実に滑稽だ。



さっきから
何を……

とんなまなざしで



ん

だって……

俺を
見つめてるんだからなあ。



今度は
私が……

リードされっぱなし
だったから

さっきは千鶴に



やられるのも
たまらねえが

千鶴を……

やはり男としては

やってみてえ
んだよなあ。

ハア……



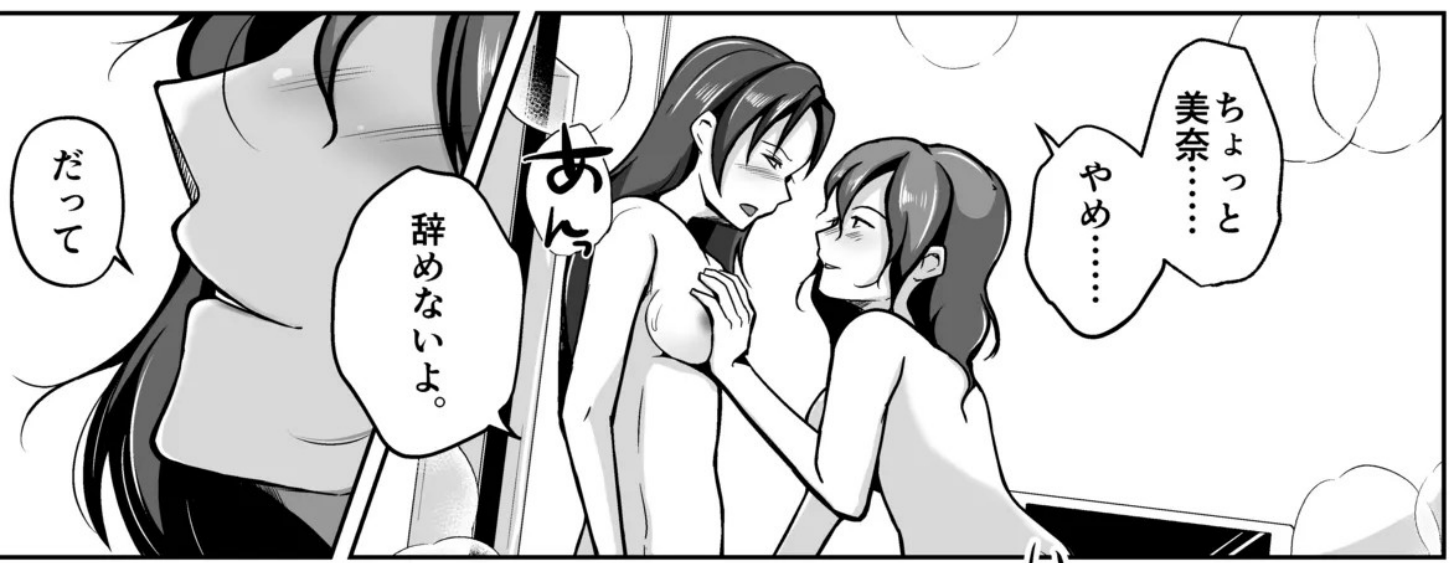


こんな声で
喘ぐんだね。



千鶴……
カワイイ。

あつ……
はあ。



だって

あ
辞めないよ。

ちよっと
美奈……
やめ……



んっ

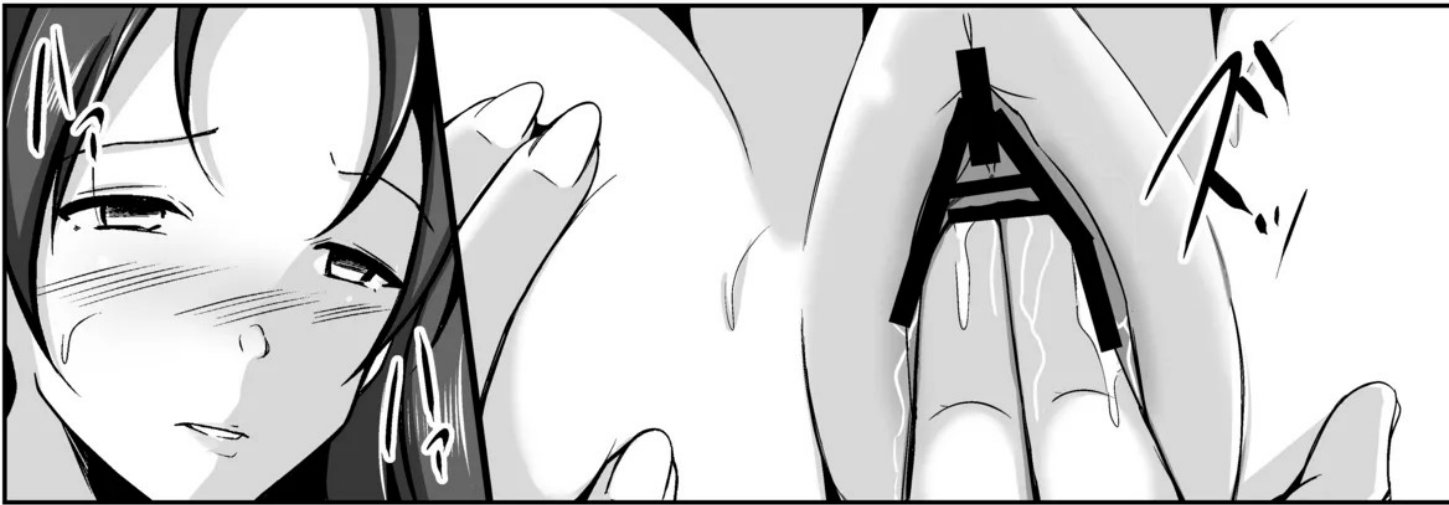
凄く気持ち
よさそうだもん。

千鶴ってば

あ
あ
あ



いつもと逆だね。



んちゃ

んちゃ

んちゃ



なんだか 凄く新鮮。

はあ

はあ

ククク。
コイツ顔に似合わず
ウブだな。

はあ



ああ...!!

ああ...

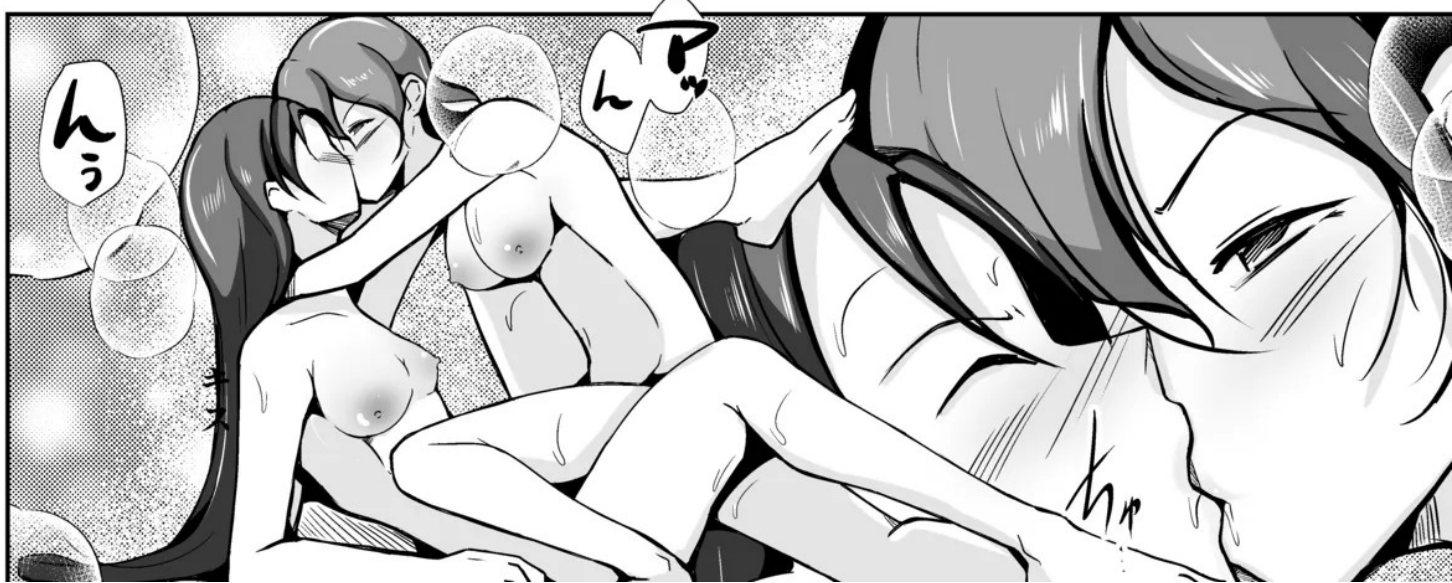
痙攣するほど
気持ち
良かったの？

そんな顔で
見られたら

挿入たく
なっちゃう。

ああ...









これ
凄く良いでしょ？

あっ……

美奈……



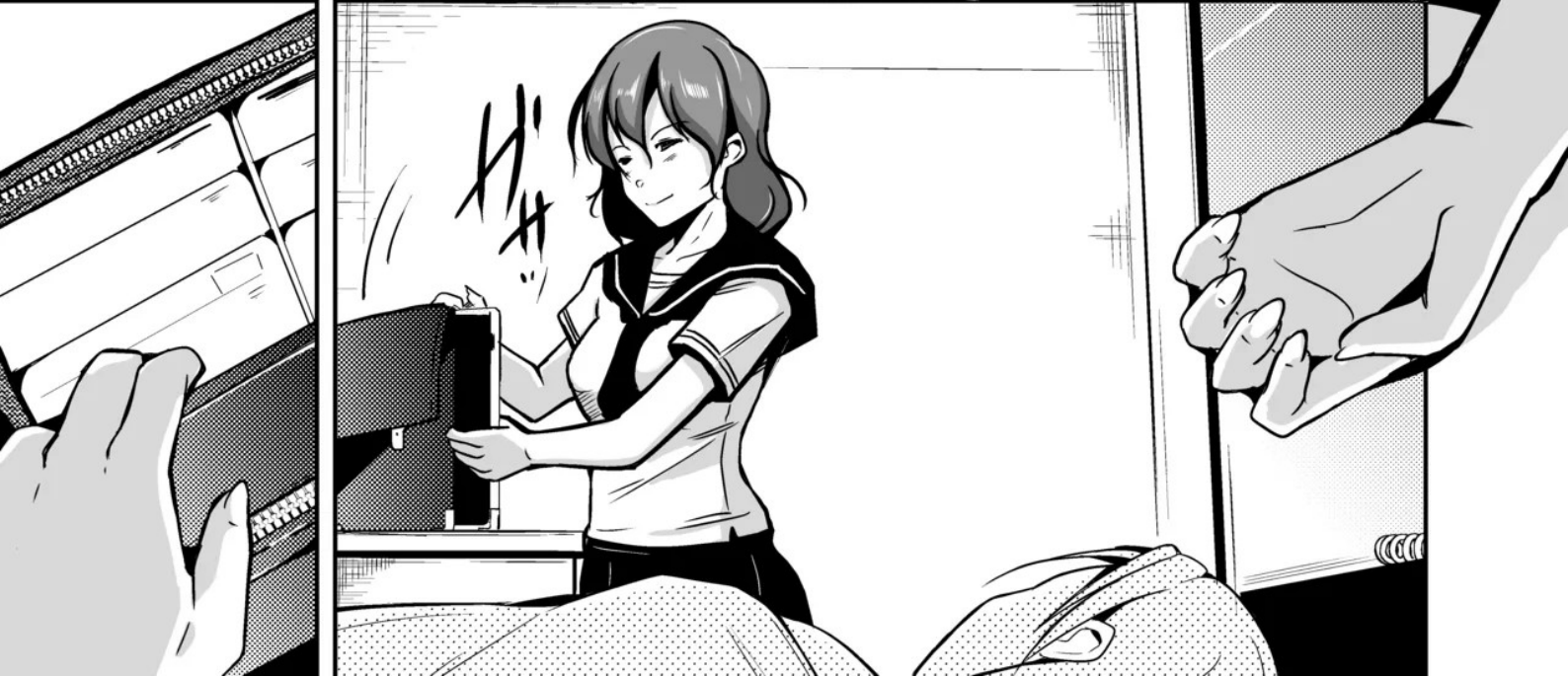
良い！

ん



気持ちいいよお！

おっ





やはり無いか。

まあ。

俺以外には使えないし。

傍目に見れば
ただのモデルガンだからな。

問題は無いのだが。



予備も十分にあるしな。

